



## 2022年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年4月28日

上場会社名 株式会社 アイ・エス・ビー  
 コード番号 9702 URL <https://www.isb.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 一史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 竹田 陽一  
 四半期報告書提出予定日 2022年5月16日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3490-1761

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第1四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	7,056	5.5	695	15.8	697	17.5	445	16.5
2021年12月期第1四半期	6,686	5.5	826	33.5	845	36.1	532	65.5

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 444百万円 (19.3%) 2021年12月期第1四半期 551百万円 (93.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	39.18	
2021年12月期第1四半期	47.00	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第1四半期	14,485	9,686	66.9
2021年12月期	14,361	9,557	66.6

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 9,686百万円 2021年12月期 9,557百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		0.00		30.00	30.00
2022年12月期					
2022年12月期(予想)		0.00		33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	5.1	890	12.9	910	13.6	530	18.3	46.64
通期	28,000	7.0	2,070	10.7	2,130	9.8	1,240	11.7	109.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期1Q	11,363,159 株	2021年12月期	11,363,159 株
期末自己株式数	2022年12月期1Q	112 株	2021年12月期	112 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期1Q	11,363,047 株	2021年12月期1Q	11,339,792 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、第1四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響が残る中、まん延防止等重点措置が解除され、飲食業等を中心に個人消費は回復の兆しが見え始めております。しかしながら、製造業では、半導体不足による供給制約に加え原材料価格の高騰等により収益が圧迫されており、国内景気の先行きは不透明な状況にあります。

世界経済においては、中国のゼロコロナ政策に加え、ロシアによるウクライナ侵攻により、サプライチェーンの混乱は、一層強まっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、中期3か年計画「新しい一歩～move up further～」のもと「顧客開拓、有望分野の拡大」、「ソリューション事業の創出」、「グループ経営強化」の3つの重点戦略に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高70億56百万円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益6億95百万円（同15.8%減）、経常利益6億97百万円（同17.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億45百万円（同16.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### （情報サービス事業）

「モビリティソリューション」は、車載系は、半導体不足の影響はあるものの、受注が堅調に推移いたしました。5G関連業務も堅調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。「ビジネスインダストリーソリューション」は、医療系は、新規ユーザーからの受注が増加し、堅調に推移いたしました。基幹システムの刷新などDX関連業務も堅調に推移し、売上高は増加いたしました。「エンタープライズソリューション」は、金融系が法改正対応やシステム改修案件等の受注が堅調に推移し、売上高は、前年同四半期に比べ増加いたしました。「プロダクトソリューション」は、MDMの受注が伸び、売上高は増加いたしました。

利益面に関しましては、調達コスト上昇による原価上昇に加え販管費が増加したことにより、セグメント利益は前年同四半期に比べ減少いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は60億44百万円（前年同四半期比13.4%増）、セグメント利益は5億70百万円（同4.0%減）となりました。

#### （セキュリティシステム事業）

半導体不足による機会損失の影響を大きく受けました。一方でリカーリングビジネスは堅調に推移いたしました。また、半導体不足の影響を受けない新アイテムの取り扱いを増強いたしました。売上高は、前年同四半期に比べ減少いたしました。

利益面に関しましては、売上高の減少に加え、部材費等の高騰による影響を受け、セグメント利益は前年同四半期に比べ大幅に減少いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は10億11百万円（前年同四半期比25.4%減）、セグメント利益は1億24百万円（同46.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、144億85百万円と前連結会計年度末より1億24百万円増加いたしました。これは主として受取手形、売掛金及び契約資産、商品や繰延税金資産等の増加額が仕掛品やのれん等の減少額を上回ったことによるものであります。

負債は、47億99百万円と前連結会計年度末より4百万円減少いたしました。これは主として支払手形及び買掛金や賞与引当金等の増加額を未払金や未払法人税等の減少額が上回ったことによるものであります。

純資産は、96億86百万円と前連結会計年度末より1億28百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金の増加額によるものであります。

なお、自己資本比率は、66.9%と0.3ポイント改善いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第1四半期の業績は堅調に推移しており、第2四半期累計期間および通期の連結業績予想につきましては、2022年2月14日公表の「2021年12月期決算短信」からの変更はありません。

今後、公表すべき事実が生じた場合には、すみやかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,074,660	6,094,494
受取手形及び売掛金	4,962,481	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	5,070,531
前払費用	143,239	162,207
商品	265,733	409,001
仕掛品	81,042	—
貯蔵品	1,604	1,604
その他	119,739	122,623
貸倒引当金	△35,345	△37,691
流動資産合計	11,613,155	11,822,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	490,913	481,543
減価償却累計額及び減損損失累計額	△295,127	△290,263
建物及び構築物(純額)	195,785	191,280
土地	600,550	600,550
その他	667,618	656,371
減価償却累計額及び減損損失累計額	△472,878	△473,959
その他(純額)	194,740	182,411
有形固定資産合計	991,076	974,242
無形固定資産		
のれん	711,908	622,920
その他	44,411	41,075
無形固定資産合計	756,320	663,995
投資その他の資産		
投資有価証券	468,342	441,242
長期前払費用	6,601	6,232
差入保証金	293,330	292,828
繰延税金資産	150,775	200,816
その他	82,152	83,643
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,001,202	1,024,763
固定資産合計	2,748,598	2,663,001
資産合計	14,361,754	14,485,772

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,635,335	1,785,265
契約負債	—	1,782
短期借入金	120,000	120,000
未払金	1,063,210	638,700
未払費用	102,563	133,178
未払法人税等	448,664	315,036
未払消費税等	401,042	417,252
賞与引当金	28,076	477,888
役員賞与引当金	17,395	28,498
受注損失引当金	16	5,650
その他	407,572	344,908
流動負債合計	4,223,878	4,268,161
固定負債		
退職給付に係る負債	236,485	238,724
役員退職慰労引当金	53,430	45,425
資産除去債務	82,361	82,656
繰延税金負債	43,620	—
その他	164,163	164,163
固定負債合計	580,061	530,969
負債合計	4,803,939	4,799,131
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,346,932	2,346,932
資本剰余金	2,951,111	2,951,111
利益剰余金	4,117,861	4,247,019
自己株式	△92	△92
株主資本合計	9,415,812	9,544,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	156,646	136,195
為替換算調整勘定	△14,644	5,474
その他の包括利益累計額合計	142,002	141,670
純資産合計	9,557,814	9,686,640
負債純資産合計	14,361,754	14,485,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	6,686,295	7,056,080
売上原価	4,777,030	5,273,572
売上総利益	1,909,265	1,782,507
販売費及び一般管理費	1,082,574	1,086,513
営業利益	826,690	695,993
営業外収益		
受取利息	2,767	3,175
受取配当金	16,000	—
その他	3,487	1,709
営業外収益合計	22,255	4,885
営業外費用		
支払利息	257	185
手形売却損	911	435
為替差損	2,001	2,788
その他	56	32
営業外費用合計	3,228	3,441
経常利益	845,717	697,437
税金等調整前四半期純利益	845,717	697,437
法人税、住民税及び事業税	406,666	338,741
法人税等調整額	△93,869	△86,545
法人税等合計	312,796	252,195
四半期純利益	532,921	445,241
親会社株主に帰属する四半期純利益	532,921	445,241

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	532,921	445,241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,134	△20,450
為替換算調整勘定	14,173	20,118
その他の包括利益合計	18,307	△331
四半期包括利益	551,228	444,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	551,228	444,909

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来はソフトウェア開発に係る契約のうち、会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については、工事進行基準、その他の契約については、工事完成基準を適用していましたが、履行義務を充足するにつれて顧客が便益を享受する場合は、進捗度に応じて一定期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は187,498千円、売上原価は158,401千円それぞれ増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ29,097千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は24,722千円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて当第1四半期連結会計期間より表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日 至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	5,330,089	1,356,206	—	6,686,295
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33,872	5,499	△39,372	—
計	5,363,962	1,361,705	△39,372	6,686,295
セグメント利益	594,181	232,616	△106	826,690

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2022年1月1日 至2022年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額（注）	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	6,044,121	1,011,958	—	7,056,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34,453	2,941	△37,395	—
計	6,078,575	1,014,900	△37,395	7,056,080
セグメント利益	570,120	124,066	1,806	695,993

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。